

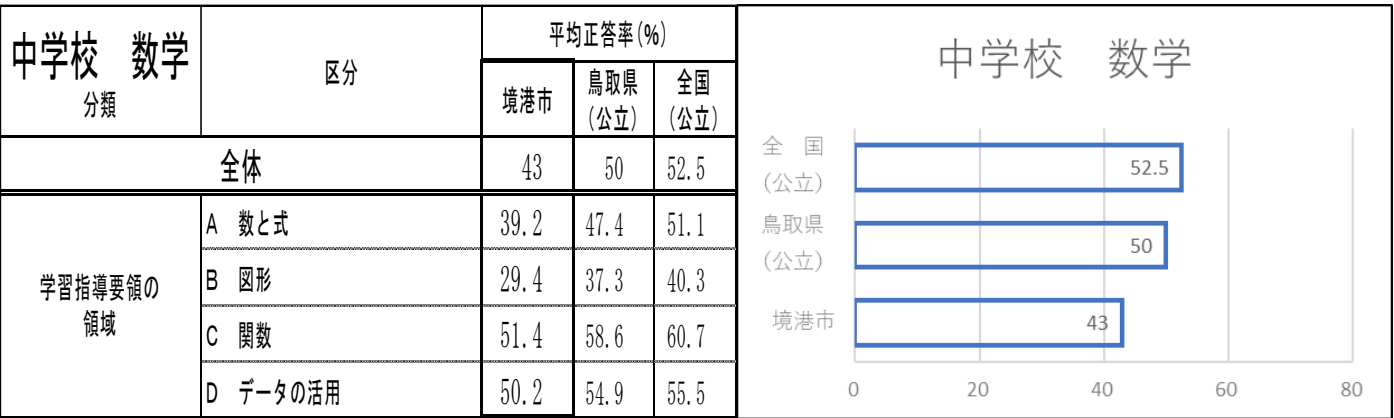
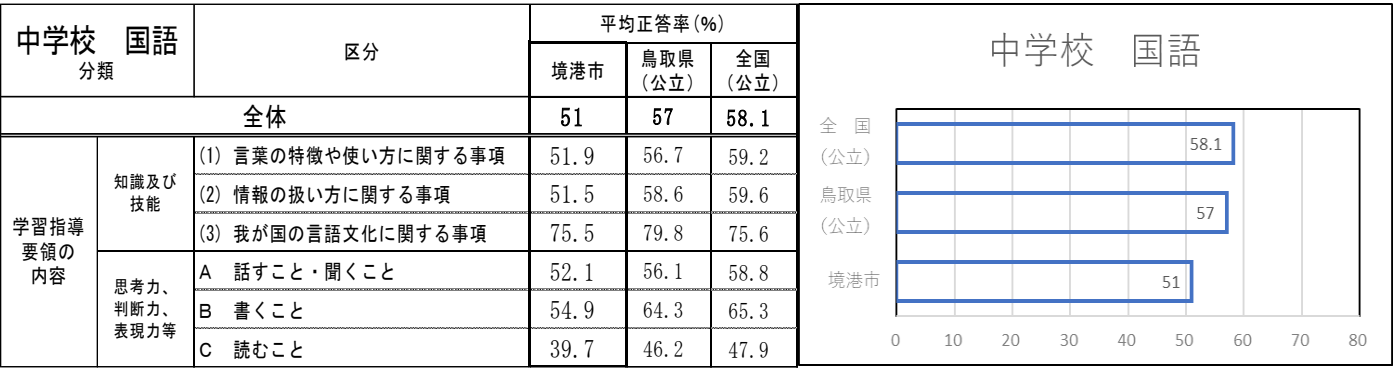
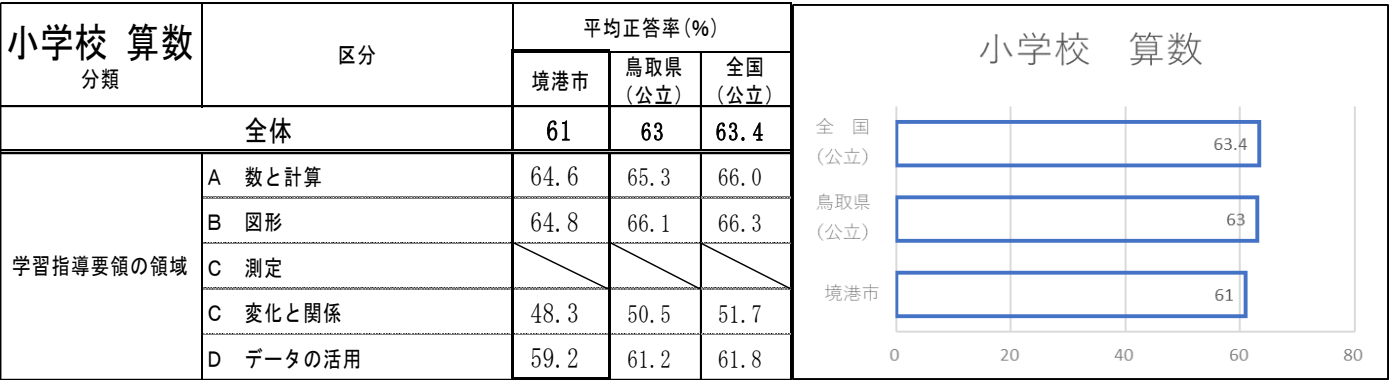
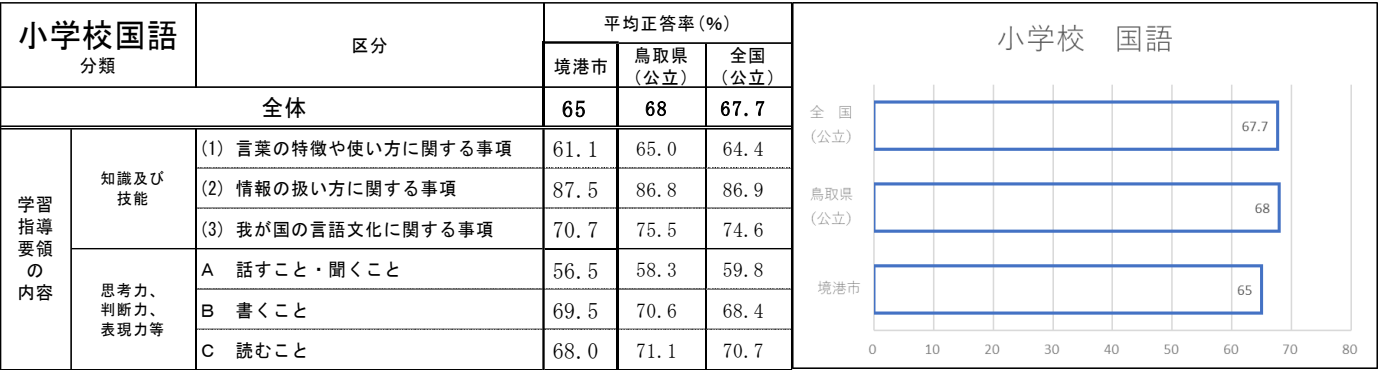
令和6年(2024年)8月26日

境港市教育委員会

令和6年(2024年)4月18日(木)に実施した全国学力・学習状況調査について、本市の結果をご報告いたします。

1 教科調査・質問調査の状況分析

(1) 教科調査について



[小学校国語]

○「自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかをみる問題」(全国比+2.4%)

▲「物語を読み、心に残ったこととその理由をまとめて書く問題」(全国比-7.0%)

[小学校算数]

○「直方体の見取図について理解し、かくことができるかをみる問題」(全国比+1.6%)

▲「速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察する問題」(全国比-8.7%)

[中学校国語]

○「行書の特徴を理解しているかをみる問題」(全国比-0.1%)

▲「具体と抽象など情報と情報との関係について理解しているかをみる問題」(全国比-12.5%)

[中学校数学]

▲「等式を目的に応じて変形することができるかをみる問題」(全国比-21.3%)

▲「一次関数について、式とグラフの特徴を関連付けて理解しているかをみる問題」(全国比-13.4%)

※±1%以内は「全国平均と差はみられない」として取り扱っています。

小学校においては、育てたい資質、能力を明確にした授業づくりに取り組んだことで、思考力、判断力、表現力等の育成を主とした授業改善に取り組む学校が増え、正答率に成果が見られました。

中学校においては、国語、数学ともに、生徒質問調査「国語、数学の授業がよくわかりますか」の問いで全国平均を下回りました。(国語全国比-3.2%、数学全国比-5.0%) また、基礎的な知識・技能を問う問題の正答率も全国平均に比べて低い状況にあります。

(2) 児童生徒質問調査について

※上段小学校、下段中学校					
項 目	内 容	R6 (%)	全国比		
学校生活	学校に行くのが楽しい	88.6	+3.8	○	
		84.0	+0.2	○	
	友人関係に満足している	92.2	+1.0	○	
		92.9	+2.8	○	
授 業	これまで受けてきた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表した	57.7	-9.9	▲	
		62.2	-2.6	▲	
	学校の授業以外に、平日において、1時間以上勉強している	38.5	-16.1	▲	
		53.8	-10.5	▲	
自尊感情 自己肯定感	自分にはよいところがあると思う	87.0	+2.9	○	
		81.4	-1.9	▲	
	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う	82.3	-1.2	▲	
		77.3	+1.2	○	

[小学校]

- 「自分には、よいところがあると思う」という意識が全国平均に比べて高く(全国比+2.9%)、自分自身を価値ある存在としてとらえ、前向きに生活している児童が多い結果となっています。

[中学校]

- 「地域や社会をよくしたい」という意識が全国平均を上回ったことから(全国比+1.2%)、コミュニティ・スクールの取組やふるさとキャリア教育が推進されています。

[小中共通]

- 「学校に行くのが楽しい」と答えた児童生徒の割合が全国平均に比べて高い結果となりました。(全国比 小+3.8% 中+0.2%) また、「友人関係に満足している」と答えた児童生徒の割合が全国平均に比べて高く、他者との良好な人間関係を築きながら生活しようと努めている児童生徒が多い傾向にあります。

▲「これまで受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表した」について、課題が見られます。(全国比 小-9.9% 中-2.6%)

- ▲平日に「1時間以上は勉強している」と答えた児童生徒の割合が全国平均に比べて大きく下回りました。
(全国比 小-16.1% 中-10.5%)

2 成果と課題について

友だちと良好な人間関係を築きながら、自分の可能性を伸ばそうと努力する児童生徒の割合が高い結果となりました。切磋琢磨しながらお互いに成長することができる関係性を大切に生活しましょう。

学校での授業については、自分から主体的に意欲を持って取り組むことについて課題が見られます。学ぶことに興味関心を持ち、課題解決に向けて主体的に取り組み、自己の学習活動を振り返りながら次につなげることが大切です。

また、授業以外の時間で学習に取り組む時間が小中学校ともに極めて短い結果となっています。授業で習った内容を家庭で復習する習慣を身に付け、基礎基本の定着を図りましょう。また、身に付けた知識・技能を活用して、自分の気持ちや考えを友だちに表現する活動にも積極的に取り組みましょう。

中学校においては、「地域や社会に対して何かしてみたい」と考える生徒が多い傾向にあります。まずは地域の行事等に積極的に参画し、自分たちが今からできることは何かを考える機会を持ってほしいと思います。